

通期の見通し

売上高は、燃料費調整制度の影響等による電気料収入の増加などにより、連結で6兆8,500億円程度（前年度比3.3%増）、単独で6兆6,850億円程度（同3.6%増）となる見込みです。

また、費用面では、為替レートの円安化の影響などの増加要因があるなかで、徹底したコスト削減を見込みました。

これらにより、経常利益は、連結で2,270億円程度、単独で1,790億円程度になるものと見込んでおります。また、当期純利益は、経常利益に加え原子力損害賠償に係る特別損益の計上などにより、連結で5,210億円程度、単独で4,880億円程度になるものと見込んでおります。

<連結>	26年度 (今回見通し)	26年度 (平成26年12月17日 公表見通し)	25年度実績
売上高	6兆8,500億円程度	6兆8,500億円程度	6兆6,314億円
経常損益	2,270億円程度	2,270億円程度	1,014億円
当期純損益	5,210億円程度	5,210億円程度	4,386億円

<単独>	26年度 (今回見通し)	26年度 (平成26年12月17日 公表見通し)	25年度実績
売上高	6兆6,850億円程度	6兆6,850億円程度	6兆4,498億円
経常損益	1,790億円程度	1,790億円程度	432億円
当期純損益	4,880億円程度	4,880億円程度	3,989億円

※ 今回公表した26年度見通しについては、平成26年12月17日に公表した内容から変更はありません。